

市報

やまぐち

昭和56年

12月1日

No. 825

人の動き (11月1日現在)

人口	114,583 (+226)
男	55,049 (+161)
女	59,534 (+65)
世帯数	39,493 (+115)
() 内は前月との比較	

発行 山口市役所
編集 企画部広報課
印刷 (株)丸二商行



現代っ子も緊張 来春には1年生

健康診断・佐山小学校

朝晩の冷え込みも厳しくなつた十一月十八日、佐山小学校では、来年四月、小学校に入学する児童の就学時健康診断が行われました。

陽気な現代っ子たちも、この日は勝手が違うのか、多少緊張気味でしたが、最上級生の六年生の引率で、七班に分かれて歯科、眼科など、五科目の健康診断と知能検査を受けました。

付き添いのお母さんたちも、お医者さんの「はい、いいですよ」の声に、安心した様子でした。

来年の四月には、四十人余りのピカピカの一年生が元気に入学してきます。

56年度市表彰 25人 5団体を表彰

11月21日 市民会館で

五十六年度市表彰受賞者の表彰式が十一月二十一日、市民会館小ホールで行われ、堀市長から受賞者一人ひとりに表彰状と記念品を手渡して、功績をたたえました。

この制度は、「市表彰規則」に基づき、自治、社会事業、社会教育、保健衛生事業、体育事業など各分野で功績のあった個人、団体を表彰するもので、今年度の受賞者は自治十一人、社会事業五人、社会教育一人、保健衛生事業二人、体育事業一人篤行者一人と二団体、優良勤労者二人、寄附功労者二人と三団体のあわせて二十五人と五団体です。

なお、受表彰者は次のとおりです。(敬称略)



各分野で活躍された方に、堀市長から表彰状と記念品が贈られました

■自治功労者 十一人

▽松田隆輔(66・中市町) 多年にわたり、新天街町内会会長(二十四年間)をはじめ、白石地区町内連合会会長等各種団体の役員として地域の発展と市政の円滑な運営に尽くした。

▽真庭孝文(63・古熊一丁目) 二十九年間にわたり、古熊町内会会長並びに市協力委員として地域の発展と市政の円滑な運営に尽くした。

▽伊藤健生(52・湯田温泉二丁目)▽鈴木正夫(58・東山三丁目)

目)▽豊田秀吉(68・旭通り一丁目)▽宮川初代(55・三の宮二丁目)▽安永伊之助(73・大市町) 以上は十年間にわたり、市協力委員として市政の発展に尽くした。

▽榎村保(64・吉田) 十七年間にわたり、市農業委員会委員として市政の発展に尽くした。

▽中尾誠(71・佐山) 二十年間にわたり、市農業委員会委員として市政の発展に尽くした。

▽松永豊(73・黒川) 二十四年間にわたり、市農業委員会委員として市政の発展に尽くした。

▽重宗幸代(62・糸米二丁目)

■社会事業功労者 五人

二十年間にわたり、統計調査員として家計調査をはじめ、国勢調査等各種の統計調査に従事し市政の円滑な運営に尽くした。

▽鈴木スミ子(58・中央三丁目)▽武安順次(62・名田島)▽田中哲(67・黒川) 以上は十五年間にわたり、民生児童委員として社会福祉事業の振興発展に尽くし、民生の安定に寄与した。

▽清水壽一(70・道場門前二丁目) 二十九年間にわたり、精神薄弱児(者)の療育に努め、社

会福祉の向上に尽くした。県精神薄弱者育成会事務局長、県精神薄弱者相談員等を歴任、現在精神薄弱者授産施設ふしの学園園長

▽村上修好(53・鑄銭司) 二十七年間にわたり、精神薄弱児(者)の療育に努め、社会福祉の向上に尽くした。現在、精神薄弱児施設めぐえん園長および精神薄弱者更生施設めぐえん青年寮寮長

■社会教育功労者 一人

▽大江一人(66・仁保下郷) 多年にわたり、仁保地区青少年育成協議会会長および市子ども会育成連絡協議会会長等を務め、青少年健全育成の良き指導者として、明るい地域社会づくりに貢献した。

■保健衛生事業功労者 二人

▽有田春江(64・黄金町) 四十二年間にわたり、母性の尊重と乳幼児の健康の保持増進に努め、母子保健事業の推進に尽くした。

した。現在、助産婦および市母子保健推進員

▽松崎千里(63・鑄銭司) 多年にわたり、市母子保健推進員および鑄銭司愛育会会長として、母子保健事業の推進に尽くした。

■体育事業功労者 一人

▽大田源治(60・黒川) 十七年間にわたり、市体育指導委員として社会体育の振興に尽くした。

■篤行者 一人・二団体

▽大隅健一(70・神田町) 多年にわたり、市養護老人ホーム福寿園のお年寄りを自らも同行して慰安旅行に招待するなど、福祉事業の推進に尽くした。

▽鴻南中学校生徒会(吉敷) 十八年間にわたり、国道九号線維新公園地下道の清掃活動を続け

■優良勤労者 二人

▽山本孫一(63・中市町) 三十七年間にわたり、職務に精励し、豊かな経験のもとに、後進の指導育成に努めた。株式会社山陰堂勤務

▽山本正男(65・宮野下) 三十六年間にわたり、職務に精励し豊かな経験のもとに、後進の指導育成に努めた。株式会社グリッパーク勤務

■寄附功労者 二人・三団体

▽宇山顯俊(33・伊丹市) 教育振興資金百万円▽山根義正(61・上宇野台) 社会福祉事業資金百万円▽東京海上火災保険株式会社山口支社(中央三丁目) 市民運動広場に太陽電池時計塔一式(六十五万円相当)▽日本専売公社山口支局(小郡町) 市民運動広場に長椅子および吸殻入れ等(計二十八万円相当)▽山口中央生活協同組合(中央三丁目) 市民運動広場に樹木(三十万円相当)

県奨選 山口 河本榮二さんら7人

社会事業や芸術文化などの各分野で県民生活の向上に尽くした人(団体)に贈られる本年度の県選奨受表彰者が決まり、十一月二十六日県自治会館で選奨式が行われました。

この選奨に、山口市から次の七人が受表彰しました。敬称略

〔芸術・文化功労者〕
▽河本榮二(81・後河原一五・箏曲教授)▽内田伸(59・鑄銭司一八六一・市歴史民俗資料館長)

〔社会事業功労者〕
▽辻田稔次(64・下野小路七一・民生、児童委員)

〔産業功労者〕
▽藤村春彦(59・米屋町三二一・市万歩クラブ会長)

〔産業功労者〕
▽林英明(56・矢原一四二〇の一・県漁船保険組合組合長理事)▽国村清(56・朝田一〇九〇の四・県コンクリートブロック工業組合理事長)▽嶋田富士雄(54・前町二一一・県建設業協会副会長)

年末・年始は気をしめて



年末、年始は車を運転する機会が増えます。事故を起さないように注意して運転しましょう

追放しよう 飲酒運転

今年のこれまでの市内の交通事故状況を見ると、発生件数四百八十九件、死亡者七人、重傷者三十九人、軽傷者五百二十八人で、これを昨年の同期と比べると、発生件数と重傷者が若干増えているものの、死亡者は昨年の十四人に対し、半分に減少しています。



特に交通事故では最近の傾向として、二輪車の事故が急増しています。

二輪車は、必ずヘルメットを着用して運転するよう心がけましょう。

また、年末・年始には、忘年会、年始のあいさつ回り、新年宴会等で飲酒の機会が多くなります。

飲酒して車を運転することは許されません。

「少しくらいは...」の気のゆるみが大きな事故を招きます。

酒は運転の敵です。飲んだら乗るな、乗るなら飲むな、飲ませるなを合言葉に、家庭から、職場から飲酒運転を追放しましょう。

山口県中部環境施設組合

火葬作業職員を募集

山口県中部環境施設組合（山口市、小郡町、秋穂町、阿東町の事務の一部を共同処理するために設立された特別地方公共団体）では、次のとおり火葬作業職員を募集します。

◇資格・採用予定人員
昭和二十一年四月二日から三十一年四月一日までに生まれ、中学校卒業以上の学歴を有する男子。一人

◇面接試験の月日・場所
十二月十八日・中央四丁目

三―一三第三山陽ビル内山口県中部環境施設組合事務局

◇申し込み方法
市販の履歴書（写真貼付）に必要事項を記入し、十二月十四日までに、中央四丁目三―一三第三山陽ビル内山口県中部環境施設組合事務局（電話二四一―一六六七）へ

なお、問い合わせも同事務局へ



「私たちのまち山口」

市民の安全を願って

市では、毎週日曜日午前十一時五十分から五十分、TBSテレビで「私たちのまち山口」を放映しています。

十二月十三日と二十七日は市民の生命と財産の安全を願って、昼夜を問わず活動する消防署員の訓練状況と、予防

予防課には、三つの係があります。

指導係は、建物を建築するときの消防に関する同意事務や旅館、病院、百貨店、学校、工場、そのほかあらゆる事業所に向いて立ち入り検査を行い、消防用設備や火気使用場所、その他防火についての状況を査察して、危険なものや不備な箇所を改善するよう指導し、火災の未然防止に努めています。

また、これらの事業所の防火訓練には、係員を派遣して、消火や避難の方法など実地指導を行っています。

危険物係は、石油類の販売施設や貯蔵施設の許認可事務を取り扱っているほか、定期的なこれらの施設に向いて立ち入り検査を行い、危険物の貯蔵、取り扱いの安全管理などについて指導し、危険物火災の未然防止に努めています。

また、多量のガソリンや灯油などの危険物を扱う危険物取扱者の試験や講習会などの事務も取り扱っています。

調査係は、火災の出火原因や損害などの調査業務を行っています。

また、出火原因をいろいろ分析研究し、今後の火災予防のための啓もう活動や市内巡回広報等を行っています。

このほか、町内会、自治会などは出向いて、一般家庭を対象とした防火教室や講習会を開催し、大いにその成果を発揮して

市議会

12月定例会

18日間の会期で

十二月定例市議会が、十二月四日から始まります。

会期は二十一日までの十八日間です。

日程は、四日議案説明、十日・十一日一般質問・質疑、十四日・十五日委員会、二十一日委員長報告・討論・採決です。



山口市消防本部

その二



市民の安全を願って、旅館の消防設備の点検が慎重に行われます

また、婦人防火クラブの育成指導に努め、現在では市内十五地区に防火クラブが結成され、九千四百人の会員が「家庭の防火は主婦の手で」をスローガンに、定期的の実施される研修会に参加して、活発な防火活動を進めています。

こうした活動の展開で、近年一般家庭からの火災が著しく減少しています。

市民の健康相談役

あなたのそばに保健婦さん

保健婦を活用して健康保持を

地域に出向き、家庭訪問や健康相談に応じるなどして、十一万市民の健康増進と病気の予防対策に、真剣に取り組んでいる保健婦さん。

保健婦・助産婦・看護婦法によって、役割が定められ、その規定によれば「保健婦とは、その名称を用いて、保健指導に従事する」とあります。今回は、その保健婦にスポットをあて、活動状況や活用方法、今後の課題などについて考えてみましょう。

保健指導を受けて健康な暮らしを

二歳の幼児が、市内のある保育園に入園した時の話です。

食事をするのに口を食器に持っていく。スプーンやはしを使って、食べ物を口に運ぶことを、母親が家庭で教えていない子供が、見受けられたということです。

最近では共働きが増え、子供に

自分で食べさせると手間がかかることや、昼間子供と一緒にいたために甘やかし、母親が食べさせている家庭があるといわれます。

これは明らかに母親の失格の例で、まず親の教育が必要と考えられますが、「一歳六か月児健康診査」を受けると、こうした事例はなくなると保健婦は話しています。

同調査表の質問の中に「さじを持って自分で食べようとしませんか」という項目のほか、十九項目の質問があり、回答いかんによって保健婦は育児指導を行います。

こうした母親失格の例は別としても、成人病時代を迎えたといわれる今日、集団検診の事後措置とか高血圧患者や糖尿病患者に対する食事指導・相談を行う「保健指導」が、保健婦の重要な役割になりつつあります。

特に、自分の健康は自分で守るという風潮が浸透し、ジョギングや減塩食をとることが徹底してきたことで、これからの保健指導は「健康の保持・増進」



公用車を運転して保健指導に向かう保健婦。地域のすみずみに足をのびします。

「疾病の予防」に力を入れていくことになりそうです。

五十五年度の市の保健婦の仕事の内容をみると、成人病の集団検診や相談件数を五十一年度と比較すると、十割余りも高くなっていることから、その重要性がうかがわれます。

こうした集団検診や成人病の予防活動のほか、保健婦の役割として、ねたきり老人や妊婦宅などの家庭訪問、衛生知識の普及・向上をはかる衛生教育など、健康に関するすべての保健指導を行います。また十分とはいえないようです。

自分の健康保持の相談役として、進んで保健婦を活用することが大切と考えられます。



年を取る人捨てる人

世の中には年を取る人と捨てる人がいるといわれます。

年を取るとは、丁度樹木の年輪のように、経験を積み、知識を深め、円熟味を増していくことではないでしょうか。

年を捨てるとは、ただ白髪やシワが増え、古い先きが短くなっただけと言うことなのでしょう。この差は反省の深さによって決まると言えます。たとえ、どのような経験を重ねても、全く反省が無ければ進歩も実りも無い、いわゆる年を捨てる結果となります。人生は、日々新しい変身、心豊かな創造ではないでしょうか。同じ生きるなら、懐しまれるロマンに満ちた年輪を刻みたいものです。

施設

農業のリーダー養成 県農業研修所

改良普及員や農協管農指導員、市町村の農政担当者などの指導者と、地域の農業のリーダーを養成する県農業研修所は、県農業試験場と並んで大内御堀にあります。



ここでは、研修生にすぐれた農業知識と技術を身につけさせ、それを地域に持ち帰って指導させることにより、あたたかいふるさとづくりの輪を広げようとするものです。

物実験実習室のほか、十四の宿泊室があります。

明治三十六年三月に農業講習所として発足し、昭和四十四年四月に現在の名称に変更されています。

年間の利用者数は六千人余りで、利用者は年毎に増える傾向にあります。

同研修所は、鉄筋コンクリート造二階建てで、一階には食物実験実習室や研修室をはじめ、食堂、厨房などがあり、二階には被服住居家庭管理実験実習室、視聴覚研修室、生

己啓発、生涯教育の場として大いに利用してください。

△職員の声▽

講師も常駐しています。自己啓発、生涯教育の場として大いに利用してください。



地域などに出向き、血圧測定や尿検査などを行い、異常の発見に努める保健婦。保健相談は精神的なささえにもなります。

(5)

今後の課題は 健康推進の拠点づくり

地域住民に密着した健康相談や衛生教育などを総合的に行うためには、健康推進の拠点が必要といわれています。

厚生省では昭和五十三年度から、十か年計画をたて全国の市町村に、その拠点づくりを推進する施策を進めています。

県下でも宇部、小野田市をはじめ、田万川、菊川町など二市六町が「保健センター」を建設し、衛生行政全般の運営を同センターを中心に進めています。

保健婦の活動を効果的に進めるためにも、保健センターの建設が今後の課題になりそうです。

また、保健婦一人が担当する住民の人数も考慮する必要があります。

老人の数は、二十年後には二千万人になるといわれている現

グループは十年前、四人で始めました。当時は点訳だけでしたが、二年遅れて朗読にも取り組みました。現在二十人の主婦ばかりの集まりです。



視覚障害の方のために、なんとかお役に立ちたいと、始めたことで、考えて見ると、私たちが受けている恩恵の方が多いのではないかと思うことがあります。私たちが得ている程の喜びを、果して皆さんが感じておられるかどうか、自分の好みを押しつけているのではないかと反省するこ

在、老人が増えれば病気でなくても健康上の相談・助言・指導が要求されてきます。

保健婦さんと私の出会い

健康診断を受けて 自分の健康管理を



四十九年ごろ頭痛がするため、病院で診察を受けたところ、血圧二百二十、動脈硬化も進んでいるとのことと、一年半余り通院しました。こんな身体ではいけないと思い、保健婦さんの指導・助

厚生省の基準では、国民健康保険被保険者四千五百人に保健婦一人になっていますが、本市

言を受けるようになり、その指導で減塩食を始めました。いまでは、胃、循環器、婦人科などあらゆる健康診断を受けるよう努めています。そして保健婦さんの話を聞き、尻をたたかれながら健康管理に努める毎日です。(嘉川岡屋 山本富子さん)

健康相談は 私の心のささえ

保健婦さんとの初めての出会いは、子供が乳児検診を受けたときに始まります。その後、私は血圧が高いと

の場合、保健婦一人が七千人余りを担当するなど、保健婦の増員もこれからの課題です。



いうことで、部落である健康相談に向き、指導を受け始めました。

食事療法の指導はもちろん日常生活をする上での、気持ちの持ち方も教わりますのでそれが心のささえになり、血圧が安定してきたものと思います。

健康相談は女性とお年寄りが大半ですが、成年の男性の相談も欲しいですね。(秋穂 二島仁光寺 北村麻子さん)

朗読は熱意と愛の心で

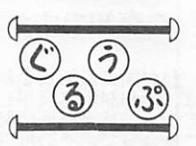
山口カトリック点訳朗読グループ

代表者 瀬川 礼子

とがあります。今年日本中で、国際障害者年という掛け声に、ぱっと花が開いたように、様々な行事が至る所で見られます。熱しやすく冷めやすい日本人のことですから、来年になったら、けろりと忘れて元通り、障害者の方への陽当りは、また薄れるのではないかと心配になります。私たち

館で集会を持ち、後継者の養成に力を注いでいます。若いフレッシュパワーが欲しいのです。が、若い人の定着は、これまでの経験ではむづかしく、強力と

までは行かなくても、主婦の落着いた地道な活動の方がむしろ信頼出来るような気がします。朗読は、毎月二回発行の市報と月一回のグラフ山口を順番制にしていますので、その他の朗読奉仕はその余暇ということになります。求めに応じて、たとえ自分には興味がないくても、是非必要なの



大歳ママさん コーラス

「エーデルワイス、エーデルワイス、真白な花よ：」公民館の会議室から軽やかなメロディが秋風に乘って流れてきます。

小学校の教育会研修部(代表者は井手慶子さん・矢原)に属し、公民館活動としてスタートしてから三年が経った大歳ママさんコーラス(代表者は藤村芳子さん・下矢原)が十一月十五日に開催された地区の文化祭には、今年初めて出演し、地区民の前に「エーデルワイス」、「ママのそばで」、「翼をください」の三曲の美しいハーモニーを披露しました。「会員は全員女



性ということと、教育会の研修部ということで、その辺を考えると選曲に苦勞します」と藤村さんは話します。今年はこの文化祭のほか、小学校の校内音楽会、地区敬老会に出演しました。

幸い公民館に、市内の他の公民館にはないピアノが備えられていることと、ピアノ奏者には小田恭子さん(上湯田)がおられることで、毎週木曜日の午前十時三十分から正午まで、手の空いた時間を利用して練習します。平均年齢は三十二、三歳と若く、歌だったら子供連れでも参加できることから、小さな子供を連れて参加している会員もいます。

指導者は吉兼幸枝さん(下矢原)で、歌う前には小田さんの伴奏で美容体操が始まります。体操の後、そのままの隊形で発声練習。「口を大きく開けないと声がかもりませぬ。お腹にぐつと力を入れて：」と吉兼さんの声飛びます。

「ヘタな横ずきですが、好きだから毎回出席しています」と井手さん。秋本勝江さん(矢原)は、「歌うことは楽しいものですね。木曜日お待ち遠しい」と話します。「コーラスは人が多い程迫力ができます。全員素人です。あなたも歌ってみませんか」小田さんはこう呼び掛けています。

箏曲組歌発祥の碑

上豎小路・八坂神社

上豎小路の八坂神社境内で、十一月十二日、「箏曲組歌発祥之地」建碑十五周年記念式典が行われ、箏曲生田流の家元で人間国宝の米川文子さんと全国から関係者、二百人余りが集まりました。



『箏曲組歌』の由来は、「今から約四百年前ごろ、当時守護大名の大内義隆が、戦乱の京都をのがれてきた公家・文化人・学者たちを館に迎え保護し、彼らから京の文化をとり入

れていました。その中には、音楽を愛好するものも多く、特に七人の公家が一首ずつ歌を詠み、それらを組み合わせて曲をつくり、琴を奏で楽しんで」と言われています。

この故事にもとづき、初代正派家元、故中島雅楽之都氏の「箏曲組歌の発祥の地山口に記念碑を建て、組歌を末長く後世に伝承しよう」という提唱により、昭和四十年十一月十一日、全国邦楽関係者などの協力のほか、当時総理大臣であった故佐藤栄作氏の揮ごうで、記念碑が建立されました。

大内文化を今に伝える「箏曲組歌」は、その石碑とともに新しい観光の目玉となっています。

ふるさと今昔2題

県道・柚木大内線を北へ行く、警察官姿の人形が、「ゆっくり走ろう防長路」の標語を掲げて、道ゆくドライバーに安全運転を呼び掛けています。

ここは、仁保揚山地区で、中野為人さん(49)の家の前で県道が狭くなり、カーブで見通しが悪く、ドライバーが注意しなければならぬ場所です。

中野さんの玄関先には、この人形のほか、カッパやドラえもんなど九種類の人形が動いています。そして最大の特徴は、水車が動力源だということです。

少年時代、水車を見て育った中野さんは、大人になったら自分で水車を作ろうという夢を持ち、八年前に一台目をそして現在ののが二台目です。



最初は、玄関先の人形だけでしたが、今年の秋の交通安全県民運動期間中にヒントを得て作ったのが警察官の人形で、自慢作品の一つです。

材料は不用品や廃品がほとんどですが、そこは仕事柄手先の器用な大工さん。ドリルと切り出しナイフで動く人形になります。中野さんは、「標語は一か月ごとに替え、次の作品は水平動作の飛行機を」と、楽しんで話していました。

仁保揚山

水車で動く人形

国民健康保険・国民年金

保険料納付額証明書を発行します

昭和56年1月から12月までに納めた国民健康保険と国民年金の保険料の「納付額証明書」を57年1月に配布する納付書(国民健康保険料8期分・国民年金保険料4期分)に添付してお届けします。この証明書は、所得税、県市民税の申告に必要ですから、申告時にご利用ください。なお、保険料を前納した人や途中で資格のなくなった人、未納保険料のある人または、証明書発行までに納めた保険料の金額が必要な人は、市保険年金課または最寄りの出張所へおたずねください。

広島身体障害者職業訓練校訓練生募集

- 募集人員 電子機器科20人、機械組立て科10人、服飾科30人、軽印刷科20人、機械製図科15人、表具科15人、義肢装具科20人、一般事務科30人
- 受付期間 昭和57年1月7日～3月20日
- 訓練期間 1年(義肢装具科は2年)
- 休暇 夏期、年末年始に各2週間
- 入居者は寄宿舎にはいることができ、寮費は無料。詳しくは、国立県営広島身体障害者職業訓練校(広島市南区宇品東4丁目1-23 電0822-54-1766) または市福祉課(電22-4111)へおたずねください。

県立衛生看護学院看護学生募集

- 募集人員 修業年数 保健婦科40人・1年、助産婦科20人・1年、看護婦科(1部)50人・3年、看護婦科(2部)50人・2年
- 願書受付 保健婦科と助産婦科は昭和57年1月10日～25日、看護婦科はいずれも1月10日～31日
- 試験日 保健婦科 2月2日・3日、助産婦科 2月1日、看護婦科(1部) 2月4日・5日、同(2部) 2月8日・9日
- 受験資格、試験内容など詳しいことは、県立衛生看護学院(〒747 防府市大字西佐波 42436 電0835-23-1920)へ

山口大学工業短期大学部学生募集

- 募集人員 機械工学科40人、工業化学科40人、電気工学科40人、土木工学科40人、情報処理工学科40人
- 募集資格 高等学校を卒業した者(昭和57年3月卒業見込みの者を含む)および高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者
- 出願期間 昭和57年3月1日～18日
- 小論文・面接試験日 3月20日
- 試験場 山口大学工業短期大学部(宇部市常盤台) 詳しくは、同大学部学務係(〒755 宇部市常盤台2557 電0836-31-5105)へ

ご存知ですか 最低賃金

わが国の最低賃金制は、昭和34年に発足してから、社会経済情勢に見合って、その推進が図られ、こんにちでは、各都道府県ごとにすべての労働者を対象とする地域別最低賃金と特定の産業の労働者を対象とする産業別最低賃金の決定によって、3,500万人の労働者のすべてに最低賃金が適用されることになり、賃金の低い労働者の労働条件の改善に重要な役割を果たしています。しかし、最低賃金の実施状況は、きめられた最低賃金が、物価などの動向に応じてほぼ毎年改正されていることもあって正しい金額を知らない事を理由とする違反がまだあるなどなお不十分な実情にあります。12月は、「最低賃金周知月間」です。昭和56年に改正決定された最低賃金額は次表のとおりですので、よく確認をしておきましょう。



山 口 県 最低賃金	最 低 賃 金 額		出版・印刷 ・同関連産 業(速記、 複写業を含 む)	1日 3,198円 1時間 400円
	1日	1時間		
産 業 別 最低賃金	最 低 賃 金 額		機械・金属 製品等製造 業及び自動 車整備業	1日 3,384円 1時間 423円 電気機械器具製造業に従事 する人 1日 3,164円 1時間 396円
食 料 品 製 造 業	1日 3,122円 1時間 391円	1時間 391円 1時間 374円		
窯業・土石 製品製造業	1日 2,985円 1時間 374円	1時間 374円 1時間 347円	(注) ① 1時間と標示している額は賃金の大部分が時間によって定められている人に適用されます。 ② この賃金額には、精皆勤手当や通勤手当、家族手当は含まれていません。 ③ この賃金額の発効日(予定日を含む)は、次のとおり。 ・山口県最低賃金(昭和56年11月26日) ・食料品製造業(11月27日)・窯業等製造業(12月2日)・繊維産業(12月11日)・木材等製造業(12月12日)・卸売業、小売業(12月13日)・出版・印刷業等(12月24日)・機械、自動車整備業等(12月25日) ④ その他、詳しくは、山口労働基準局(電22-1144)へおたずねください。	
	1日 3,409円 1時間 427円	1時間 427円 1時間 398円		
織 維 産 業	1日 3,183円 1時間 398円	1時間 398円 1時間 370円		
木 材 ・ 木 製 品 ・ 家 具 ・ 装 備 品 製 造 業	1日 3,114円 1時間 390円	1時間 390円 1時間 370円		
卸 売 業 ・ 小 売 業 (代 理 商 含 み、飲 食 店 を 除 く)	1日 3,256円 1時間 407円	1時間 407円 1時間 389円		
卸 売 業 ・ 小 売 業 (代 理 商 含 み、飲 食 店 を 除 く)	1日 3,251円 1時間 407円	1時間 407円 1時間 389円		
清 掃 ・ 炊 事 な ど 軽 易 な 業 務 に 従 事 す る 人	1日 3,106円 1時間 389円	1時間 389円		

1歳6か月児健康診査

- 日時 12月23日(水) 受付時間は午後1時～2時
- 場所 市役所内市民ホール
- 対象児 昭和55年6月1日～6月30日に生まれた幼児
- 料金は無料。受診者は母子手帳を持参してください。なお、南部地区(嘉山、佐山、名田島、秋穂二島、陶、鑄銭司)の幼児は1月27日(火)に陶隣保健館で行います。

■体力づくりインディアカ講習会

- 日時 昭和57年1月19日～2月26日(毎週火・金曜日) 午前9時30分～12時、全10回
- 場所 県体育館(中園町)
- 参加対象者 市民
- 内容 体力づくりトレーニング、インディアカ
- 受講料 1,500円(施設使用料・保険料)
- 携行品 運動のできる服装、上履、タオル
- 申し込み 12月28日(月)までに市教育委員会体育課(☎22-4111)へ

新春九州三社初もうで

- 市営バスでは、日本交通公社と共催で九州三社(太宰府天満宮・宮崎八幡宮・宮地嶽神社)初もうでの会員を募集しています。
- 日時 昭和57年1月3日(日) 午前7時50分 市民会館小ホール入口集合
- 会費 大人4,500円、子供4,000円
- コース 市民会館前(午前8時出発) → 太宰府天満宮(昼食) → 宮崎八幡宮 → 宮地嶽神社 → 市民会館前(午後7時頃)
- 申し込み 12月21日までに、市交通局営業課観光係(☎22-2555)または日本交通公社山口支店(☎24-2369)へ

■一級・二級技能士通信制訓練生募集

- 訓練科目 <一級>機械加工、配管など4科 <二級>配管、建築、金属塗装など29科
- 受講資格 実務経験のあるもの
- 訓練期間 標準1か年
- 受講料 1級8,000円、2級6,000円
- 問い合わせ 山口技能開発センター(大字矢原字花ノ木☎22-1948)へ

■香川職業訓練短期大学校学生募集

- 募集科目・定員 生産機械科20人、自動車科20人、金属成形科20人、建築科20人
- 応募資格 高等学校を卒業した者(昭和57年3月卒業見込みの者を含む)またはこれと同等以上の学力を有する者
- 願書受付 昭和57年1月18日～2月17日
- 試験日 2月23日(火)
- 修学期間は、2年。詳しくは香川職業訓練短期大学校(〒763 丸亀市郡家町3202 ☎08772-4-6290)へ

お知らせ



朝、夕の寒さとともに新しい暖房器具を購入される家庭もふえています。が、取扱いは正しく行いましょう。

今年も本格的な冬に入ります。寒さが増してくると、ホームゴタツや電気毛布を使うようになりませんが、次のことに心がけ、感電事故防止や省エネルギーなどに努めましょう。

- ・ホームゴタツ
 - ・横にしたり、逆さにして使用したり、ホームゴタツで洗たくものを乾かすことはやめましょう。
 - ・自分で温度調節ができない方
- ・電気毛布
 - ・畳の上に直接置くより、ジュートンを敷き、厚手の掛けぶとんを掛けましょう。

暖房電気器具は 効率よく使いましょう

乳幼児や老人の方には、温度を注意してあげましょう。ヒューズが切れた場合は、温度ヒューズを使用しましょう。針金などを入れると火事の元になります。

■健康長寿の精進料理講座

- 期間 昭和57年1月～3月の3か月
- 開講日 1月14日(金) 午前10時～
- 開講回数 6回(毎月第1・3土曜日。ただし、1月は14日と29日)
- 受講料 月1,500円および2回分原材料費1,000円とテキスト代実費(開講日に一括払い)
- 講師 杉村兌心先生(都濃郡鹿野町龍雲寺住職)
- 申し込み 入会金1,000円を添えて12月20日までに県婦人会館(湯田温泉五丁目1-1 ☎22-2792)へ

■育児相談センター開設

- 日時 愛児園平川保育所開園日(土曜日と特別な行事のある日を除く)
- 時間 午前9時～午後4時
- 場所 愛児園平川保育所(山口大学通り丸久北側)
- 問い合わせ 同保育所(平井☎25-4997)または市福祉課福祉第2係(☎22-4111)へ

■県立図書館 12月月間展示

- 「戌(犬)」展
- 期間 12月1日～26日(月曜日休館)
- 場所 県立山口図書館2階
- 内容 来年の成年にちなみ、犬に関する資料60点を展示します。

火災情報

種別	建物	林野	車両	その他	計
10月発生	2	1	1	—	4
今年今累	19	8	3	6	36
10月発生原因	焼却炉からの飛火 ガソリン引き火の不始末 火のたきもみ乾燥機				

人権週間

十二月四日から十日までは、「人権週間」です。この週間にあたり、一人ひとりが、人権について再認識し、差別のない明るい社会をつくりましょう。

人権にかかわる問題については、山口地方事務局人権保護課(黄金町☎二二二二九五)または次の人権擁護委員会にご相談ください。

▽塚田守男(後河原☎二二〇八〇五)▽小林正人(下市町

外国人の方も 国民年金に加入できます

このたび、法律が改正されて外国人の方も昭和五十七年一月一日から国民年金の加入の対象となりました。

国民年金に加入できる人は、二十歳から五十九歳までの人で厚生年金・船員保険・各共済組合などの公的年金制度に加入していない人が対象となります。

国民年金に加入されると、保険料を納めていただくこととなりますが、納めることができな人には免除される制度もあります。

詳しいことは、市保険年金課(☎二二四一一一)、または山口社会保険事務所(☎二二一五六六〇)へおたずねください。

12月の休日当番医	日	外科系		内科系		外科系		内科系		
		病院名	電話	病院名	電話	病院名	電話	病院名	電話	
6	柴田病院	山口☎2800	美澄内科	山口☎2285	小吉林共	山口☎1515	郷田内科	山口☎0916	賀屋医	二島 2033
13	佐々木外科	山口☎2537	本永内科	山口☎7001	林武病	山口☎2330	上田徳河	山口☎0916	屋井医	阿知須 2048
20	山口病院	山口☎1191	山県医	山口☎0206	立村川	山口☎0411	郷田内科	山口☎0916	河内医	秋穂 2711
27	山外	山口☎0139	湯田医	山口☎1739	立村川	山口☎2200	郷田内科	山口☎0916	藤立医	阿知須 2126
29					立村川	山口☎2513	郷田内科	山口☎0916	藤立医	阿知須 2200
30					立村川	山口☎2177	郷田内科	山口☎0916	藤立医	二島 2033
31	吉永外科	山口☎3263	田中医	山口☎0053	立村川	山口☎1003	郷田内科	山口☎0916	藤立医	二島 2002

■休日当番医診療時間 8時30分～17時30分
 ■日曜、祝日の夜間は、休日夜間急病診療所(熊野町、県薬剤師会館内 電話 ☎2266)へ、19時～23時
 ■日曜、祝日の歯科は県口腔センター(吉敷下東、県歯科医師会館内 電話 ☎1820)へ、9時～15時